

2023年8月4日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



## 横浜高速鉄道株式会社が発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、横浜高速鉄道株式会社が発行するグリーンボンド<sup>(注1)</sup>(10年債 60億円、以下 本社債)の引受けにおいて事務主幹事及びストラクチャリング・エージェント<sup>(注2)</sup>を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

横浜高速鉄道株式会社は、2004年にみなとみらい線が開通して以来、みなとみらい21地区を中心とした都市の交通基盤の確立、輸送体制の確保等を目的とし、クリーンな交通インフラとして使命を果たしています。2021年6月に策定した中期経営計画(2021～2024年度)において、4つの重点施策「より安全に、より安心して利用できる環境づくり」、「笑顔があふれる 最高のおもてなし」、「強靱な経営体質の構築」、「事業継続に向けた企業文化の醸成」から派生した取り組みを、鉄道運行、地域社会、環境、そして会社組織に再整理し、SDGsの17のゴールの達成に向けて取り組むことを表明しました。本社債による資金調達、みなとみらい21線開通に係る資金のリファイナンスに充当されます。

本社債は、ICMA グリーンボンド原則 2021、LMA・APLM・LSTA グリーンローン原則 2023、環境省グリーンボンドガイドライン 2022年版、環境省グリーンローンガイドライン 2022年版に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所より適合性について評価を取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金使途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	横浜高速鉄道株式会社 第9回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)
発 行 年 限	10年
発 行 額	60億円
利 率	1.092%
発 行 日	2023年8月15日(火)
償 還 期 限	2033年8月15日(月)
利 払 日	毎年2月15日及び8月15日
資 金 使 途	みなとみらい21線開通に係る資金のリファイナンス
取 得 格 付	A+(株式会社日本格付研究所)
主 幹 事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 SMBC日興証券株式会社 みずほ証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

(注1) グリーンボンドとは、国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券

(注2) フレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンド等の発行支援を行う者

※SDGs債ロゴについて:SDGs債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs債とは、調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券や、SDGsの実現に貢献するKPI設定/SPTs達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体がSDGsに貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上